

情報開示と双方向コミュニケーションを推進し 社会や市民の皆様との連携に努めています

常に社会や市民の声を聞き、その時代に合った環境活動を進めるため、緑字企業報告書やホームページ、展示会などを通じて双方向のコミュニケーションを図っています。また、環境NPOとの協働や産官学の連携に努め、社会や市民との対話を心がけています。

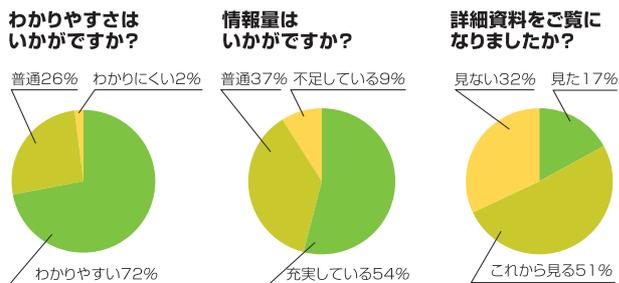
社会・環境報告書の発行

1998年から「緑字」という独自の指標を用い、地球環境に関する収支決算を「緑字決算報告書」という形で開示しています。なお2005年からは、名称を「緑字企業報告書」に変更しています。報告書にはアンケート用紙を同封し、返信いただいたお客様の声を環境活動や次年度の報告書作成の参考にしていきます。

2004年度は12,952部配布し、2005年3月までに100通以上の回答をいただきました。

お読みいただいた皆様からの評価は82点で、今後少しでも100点に近づけるように努力してまいります。

■2004年版アンケートの結果から



インターネットで環境情報を開示

宝酒造の環境サイト「環境への取り組み」は、2005年4月にリニューアルを実施し、常に新しい活動状況を公開しています。子供から大人まで一緒に学べる環境教育教材として、「森のリサイクル工房」「容器リサイクルの旅」「わかりやすい容器リサイクル」を掲載するほか、「お米とお酒の学校」では、「田んぼの不思議」や、「お酒ができるまで」、「適正飲酒について」のページを設けるなど総合的に学べるように工夫しています。

さらにお問い合わせ窓口を設けることで、お客様から直接ご意見をいただけるようにしています。2004年度にお客様からいただいた環境に関するメールは180件でした。

エコプロダクツ展への出展

宝酒造は2002年から、日本最大級の環境に配慮した製品の展示会「エコプロダクツ展」に出展し、環境活動の情報提供と、容器リサイクルに関する環境クイズを通じた環境啓発を行っています。2004年は2003年に続き環境クイズを実施し、前年の2倍以上の2,790人の方に参加していただき、宝酒造のエコプロダクツについて知っていただくことができました。

宝酒造 エコプロダクツ 環境クイズ

エコプロダクツ展でご来場者の皆様にご参加いただいたクイズです。

- 「焼酎のはかり売り」を利用すると何が節約できますか？
(1) 手間 (2) 容器 (3) 焼酎
- 「リターナブルびん」の特徴はどれですか？
(1) くり返し使える (2) 割れやすい (3) 持ちやすい
- 宝酒造のリサイクルしやすいPETボトルを何といいますか？
(1) パペット (2) フェレット (3) エコペット
- ガラスびんカレットを90%以上使用した再生ガラスびんのことを何といいますか？
(1) ユーゾーボトル (2) エコゾーボトル (3) エコタローボトル
- 環境にやさしい加工技術「エコフロスト」とは、びんを化学物質ではなく、何ですりガラス状にしたものでしょうか？
(1) 紙やすり (2) セラミックの研磨剤 (3) 小麦粉
- タカラ有機本みりんの超軽量びんは、何マークの認定を受けていますか？
(1) エコマーク (2) ロゴマーク (3) ブックマーク

※答えはP.40



エコプロダクツ2004



1998年から2004年までの緑字決算報告書



新入社員への環境教育

NPOとの協働プログラム

もっと市民の皆様身近な企業でありたいと考え、NPOの方々の協力を得てさまざまなプロジェクトに取り組んでいます。

- 「NPO法人 森の学校」や「千葉県自然観察指導員協議会」の方々の協力を受け「お米とお酒の学校」を実施しました。
- 「日本環境倶楽部」との協働プログラムとして、環境教育冊子「森のリサイクル工房」や飲み物容器のリサイクル啓発冊子「TaKaRaリサイクルロード」を発行しました。「TaKaRaリサイクルロード」は、全国の小中学校の希望者に配布しています。
- 「NPO法人 環境共生都市推進協会」の企画する京都議定書の発効を祝うベロタクシーのパレードに協賛し、市民に発効をPRしました。
- 当報告書の第3者意見を、2000～2004年までは環境NPO「気候ネットワーク」に、2005年は「京都CSR研究会」からいただきました。



市民・産業・行政とのコミュニケーション

緑字決算に市民の意見を取り入れるほか、大学で環境について学ぶ学生や研究者、また企業や自治体などからの環境活動や容器問題についての講演やインタビューへの要望に積極的に対応し、産官学の連携に努めています。

- 緑字決算に市民の意見を反映
- 専修大学の研究者へのインタビュー対応
- 広島大学の学生へのインタビュー対応
- 立命館大学の学生へのインタビュー対応
- 中央区環境保全ネットワーク(東京都)研修会にて講演
- 東急建設(株)環境発表会にて講演
- 京都市ごみ減量推進会議・京都商工会議所主催「見て聞いて・ごみ対策ツアー」対応
- 高槻小売酒販組合の環境研修会にて講演
- 京都府環境イベント「京都環境フェスティバル2004」パネル出展

社員とのコミュニケーション

ISO14001を通じて環境活動の教育を実施するほか、社内データベースでボランティア参加の呼びかけを行ったり、「お米とお酒の学校」のボランティア体験談を社内報に掲載するなど、社員への環境啓発活動を行っています。